

(5) 英 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい		評価の観点	通過率(%)	備考
(1)聞くこと ア	1	(1)	日常的な話題についての対話を聞き、その内容を正確に聞き取っている。	知・技	97	
		(2)	日常的な話題についての対話を聞き、その内容を正確に聞き取っている。	知・技	74	
		(3)	日常的な話題についての対話を聞き、その内容を正確に聞き取っている。	知・技	50	
(1)聞くこと イ	2	日常的な話題について、まとまりのある英語を聞いて、話の概要を捉えている。		思・判・表	69	
(1)聞くこと ア	3	日常的な話題について、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取っている。		思・判・表	88	
(2)読むこと ア	4	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取っている。		知・技	56	
(2)読むこと イ	5	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。		思・判・表	41	○
(2)読むこと ア (2)読むこと イ (2)読むこと ウ	6	(1)	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の必要な情報を読み取っている。	思・判・表	56	
		①	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	65	
		②	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	61	
		③	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	52	
		(3)	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	30	○
(2)読むこと イ (2)読むこと ウ	7	(1)	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えている。	思・判・表	51	
		(2)	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	29	○
		(3)	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	32	○
(5)書くこと ア	8	(1)	与えられた情報に基づいて、適切な主格代名詞を選んでいる。	知・技	63	
			与えられた情報に基づいて、適切な時制を選んでいる。	知・技	61	
		①	コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、How manyを用いた疑問文を書いている。	知・技	23	
		②	コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、一般動詞三人称単数現在形の否定文を書いている。	知・技	23	
		③	コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、Whatを用いた過去進行形の疑問文を書いている。	知・技	17	
(5)書くこと イ	9	条件に従って、日常的な話題について、事実や自分の考え方、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。		思・判・表	20	○

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

評価の観点	知・技	思・判・表
通過率	52	50

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号		問題の内容	備考	東青管内			西北管内			
				青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北部		
1	(1)	内容の聞き取り		98	98	98	98	97	99	98
	(2)	内容の聞き取り		83	83	88	75	74	82	71
	(3)	内容の聞き取り		56	56	50	50	52	57	44
2	話の概要の聞き取り			72	72	70	72	70	75	72
3	必要な情報の聞き取り			87	87	79	85	85	86	86
4	必要な情報の読み取り			59	59	52	55	56	60	49
5	短い文章の概要の捉え		○	41	42	33	45	45	42	46
6	(1)	短い文章の読み取り		60	61	46	55	51	52	61
	(2)	ア 短い文章の概要の捉え		68	68	62	65	66	68	63
		イ 短い文章の概要の捉え		65	65	60	58	62	55	56
	(3)	ウ 短い文章の概要の捉え		57	58	52	51	54	49	48
		短い文章の概要の捉え	○	30	31	22	32	33	33	29
7	(1)	短い文章の概要の捉え		52	53	40	52	53	52	51
	(2)	短い文章の概要の捉え	○	34	35	33	24	27	24	21
	(3)	短い文章の概要の捉え	○	36	36	30	30	30	32	28
8	(1)	① 主格代名詞の選択		70	70	74	65	65	74	60
		② 時制の選択		69	70	60	57	56	63	54
	(2)	① How many を用いた疑問文		31	31	22	22	22	28	17
		② 一般動詞三人称単数現在形の否定文		30	30	26	23	24	36	13
		③ What を用いた過去進行形の疑問文		15	15	4	19	19	29	14
9	条件に合うまとまりのある英作文		○	26	26	24	12	11	14	13
教科全体				54	54	49	50	50	53	47

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内		県全体	
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
99	99	98	100	99	97	97	96	97	98	98	98	96	97	92	97
68	68	59	75	69	79	79	79	78	80	80	80	67	65	77	74
45	45	35	51	45	50	56	52	44	44	44	45	52	53	46	50
67	67	66	74	65	70	74	68	68	70	71	66	67	67	69	69
85	86	85	86	85	89	90	88	88	87	88	82	91	91	87	88
51	50	51	52	54	57	61	53	55	55	58	46	56	57	53	56
38	38	40	34	41	40	42	41	39	42	43	40	40	40	44	41
51	54	38	45	56	57	61	53	56	53	55	46	57	59	49	56
63	60	60	71	69	65	66	66	65	60	63	45	63	65	56	65
64	64	59	69	67	58	63	56	55	55	57	45	60	61	53	61
44	43	43	50	48	52	58	44	51	53	55	46	53	54	46	52
27	26	24	31	30	29	28	27	30	28	28	28	32	33	31	30
47	45	48	51	50	50	53	55	46	49	50	44	53	54	48	51
25	26	17	29	22	30	30	33	29	25	26	21	30	32	22	29
28	29	27	28	23	31	33	35	28	30	30	30	36	38	27	32
59	58	57	62	61	64	67	64	62	62	65	50	58	59	53	63
56	57	50	61	56	59	66	62	54	53	54	51	60	62	50	61
12	13	9	14	13	26	31	23	24	21	24	12	23	24	16	23
16	17	11	18	16	22	26	27	17	16	17	12	24	25	18	23
19	20	12	23	14	19	23	17	18	19	21	11	15	16	13	17
15	14	6	38	13	18	15	27	17	17	17	15	24	27	11	20
47	47	43	51	47	51	53	51	49	48	50	44	50	51	46	50

※通過率(%)は、「総正答数／総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号	通過率(%)	主な誤答例（無答を含む） (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、 調査全体の誤答の割合とは異なる)
[5]	41	② (23.5) ① (20.5) ④ (15.5) 無答 (2.0)
[6]	(3) 30	ア (49.0) イ (13.0) ウ (3.0) 無答 (2.5)
[7]	(2) 29	無答 (20.5) Me too. (8.5) I think eat everything. (3.0) I think that save the earth. (2.5)
	(3) 32	無答 (24.0) Not environmental problems! (9.0) We can save it. (2.5) Throw garbage. (3.0)
	① 23	How many eraser (13.5) What eraser(s) (11.0) 無答 (11.0) How many (4.5)
[8]	(2) ② 23	無答 (12.5) has (9.0) don't have (6.5) not have (4.5) has two (6.5)
	③ 17	無答 (10.0) did you do (10.0) do you do (9.0) doing (3.5)
[9]	20	コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがある (30.0) 例) Aomori is favorite food is apple. / Aomori is Nebuta. 語数が不足している (24.5) 無答 (23.5)

工 今後の指導について

～読むこと～

○課題の見られた問題 7(1)～(3)

○出題のねらい

社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えるとともに、読んだことに対して自分の考えを書くという領域統合の問題である。出題の意図は、令和3年度に同様の出題で課題が見られたため、ALTのブログを読んで書き手の意見を読み取り、それに対する自分の考え方や今後すべきことについて考え、英文1文で書く問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、(2)と(3)で過半数が誤答となった原因として、「(1)の問題でブログの内容や書き手が最も伝えたいことを捉えることができなかった」「要点を捉えることはできたが、感想やスローガンを文法事項等を正しく用いて書くことができなかった」という2点が考えられる。

課題として、読む目的に応じて正しく要点を捉える力、自分の考え方等を基本的な語や文法事項等を正しく用いて書く力が不足していると考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、聞いたり読んだりしたことを基に生徒が自分の考え方や気持ちを述べる機会を繰り返し設定することが大切である。意見文を読んで要点を捉えさせるためには、文章全体を通して読ませ、読む目的に応じて複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことを捉えさせる方法（手掛けかり）を指導する必要がある。さらに読んだことを基に自分の考え方等を述べる際には、必要に応じて言語材料について確認したり、理解させたりするなど、表現の正確さを高めるための指導も併せて行うことが大切である。

指導例

読んだことを基に自分の考えを書くことを目指した指導

～単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit3 Animals on the Red List～

【指導の流れ】

1 読む目的を把握させる。

学習活動① 復習として、前時に読み取った内容と感想をペアで伝え合う。

学習活動② 読む目的を事前に把握した上で読む。



You read the poster “Save the Animals” last class. Many animals are in danger now. Today, we are going to read Asami's report. What is Asami's main message? After reading, I have two questions. “What do you think of her report?” and “What can you do to protect endangered animals?” You will share the answers.

ポイント

読む活動に主体的に取り組ませるため、読んだ後に何をするのか、明確にしてから読ませる。

2 教科書P42全体を読んで、要点 (Asami's main message) を捉えさせる。

学習活動① 要点に実線、その根拠となる箇所に波線を引きながら読む。

ポイント

デジタル教科書で本文を読ませる。自分のペースで内容を把握させ、発音等を聞いて確認させるなど、個別最適な学びを実現する。

学習活動② ペアで線を引いた箇所等を確認し合う。



読み手に対する問い合わせ Why do we have to protect these animals? に波線を引いたよ。この答えが要点になると思うから、Each animal has its own role in the ecosystem.に実線を引いたよ。



私はSoに波線を引いたよ。その後に結論が来るから、it is important for us to take action now.が朝美が一番伝えたいことだと思い、ここに実線を引いたよ。

ポイント

- ・ペアで確認させた後は、線を引いた箇所について、全体で共有させる。
- ・全体共有では、要点を捉えるための方法（手掛けり）を与え、生徒の気付きを引き出しながら指導することで、主体的に学習に取り組む態度を向上させる。

- One paragraph has one main idea or one important point.
 □The main idea of a passage usually appears in the beginning of the paragraph.
 □The most important points of a passage are often written in the first paragraph and in the last conclusion section as well.
 □When the passage starts with a question, the answer to it is usually important information.
 □Important points are repeated.

引用：平成31（令和元）年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例

3 読んだことについて自分の考えを述べさせる。

学習活動① 【個】教科書P42の Asami's reportへの感想及び自分ができることを考える。

学習活動② 【グループ】意見交流し、内容面と言語面から気付きを共有する。



I understood that gorillas in the Congo may die out soon.
I am very sad. I can make posters to let many people know that.



It is a nice idea. I think 何だっけ…that taking action is important.
I read WWF …ホームページ…寄付したいってどう言うのかな？

※ _____ = 教科書本文を引用した部分

「～したい」はwant toを使うことができるね。あと、What is WWF? Please tell me about it.



ポイント

グループで共有した後は、教師が全体で中間評価・指導を行い、内容面での工夫や言語面での共通する誤りを取り上げ、表現力や正確性を向上させる。

学習活動③ 【個】感想及び今後自分ができることをICT端末上で書き、提出する。

【例】I think that taking action is important. I want to read WWF website and make a donation. ※ = 共有や中間評価・指導を経て変容した部分

ポイント

振り返りの際は「最初に考えた英文とグループや全体で共有した後の英文とを比べ、どのように変化しましたか。」「できるようになったことは何ですか。なぜできるようになったと思いますか。」等と視点を与えて内容面と言語面で振り返らせ、今後の学習につなげさせる。

4 学習を振り返らせる。

学習活動 振り返りシートに記入する。

～書くこと～

○課題の見られた問題 9

○出題のねらい

日常的な話題について、自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書くことができるかを問う問題である。出題の意図は、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書けるかを把握する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、①コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤り、②語数不足、③無答の順で誤答が多く見られた。また、be動詞の誤用（例 Aomori is favorite food is apple.）も多かった。

課題として、語彙や文法事項といった知識及び技能を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる程度まで高められていないことが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、描写する基本的な語彙や表現に触れる機会を、「聞くこと」、「読むこと」及び「話すこと」の活動を通して多く設定することが大切である。そして、それらを用いて生徒にとって具体的で関心が高く、想起しやすいものをテーマに、日記や意見文など、様々な形式によって英文を書く機会を増やすことが必要である。

指導例

単元の学習を通してテーマについて考え、

「まとまりのある文章を書く力」を着実に育んでいく指導例

～単元名 BLUE SKY English Course2 Unit2 Traveling Overseas～

【単元の学習に入る前】

1 Aomori English ModelとCan-doリストを用いて単元の指導計画を立てる。



学習指導要領では、単元ごとに育成を目指す資質・能力の具体を明らかにし、資質・能力がしっかりと育っているかを単元の学習を通して確認しながら授業を進めていくことになっています。

ポイント

- ・単元目標を明確にし、コミュニケーションを行う目的・場面・状況のはっきりしたパフォーマンス課題を設定する。
- ・目標を達成している生徒の姿を具体的にイメージしながら評価規準を設定する。
- ・バックワードデザイン（逆向き設計）で指導と評価の計画を立てる。

【単元の1時間目】

2 教師と生徒が学びの方向性を共有する。

学習活動 単元の冒頭に、教師から単元のゴールとその評価方法、またどんな授業を行うのか説明を聞き、今後の学びに見通しをもつ。

My Australian friend will travel to Aomori during the summer vacation. So he wants to know your summer vacation plans. Please send him an e-mail with your summer vacation plan.



～パフォーマンス課題の例～

私のオーストラリアの友人が夏休みに青森を旅行するので、みなさんの夏休みの予定を参考にしたいそうです。みなさんの夏休みの予定をメールで送ってあげてください。

ポイント

- ・パフォーマンス課題を、いつ、どのように評価するのか生徒に伝える。
- ・何をどう工夫したり努力したりすればよいか、生徒に見通しをもたせる。

【単元の1時間目からパフォーマンステスト前まで】**3 実際の言語の使用場面に近い状況でパフォーマンス課題に挑戦させる。**

学習活動 まずはパフォーマンス課題に挑戦する。



これまで、パターンプラクティスなど練習を積み重ねてから言語活動に取り組ませていました。ですが今後は、実際の言語の使用状況を意識して、まずはパフォーマンス課題に挑戦させてみましょう。

ポイント

- ・既習事項で表現できることを確認させる。
- ・パフォーマンス課題を達成するには、教科書のどのような表現が有効か確認させる。

4 毎時間の学びがパフォーマンス課題に結び付いていることを意識させる。

学習活動 教科書各ページの表現を自分事に置き換えて表現する。

I'm going to visit Hawaii with my familyという表現は、自分に置き換えるとI'm going to visit Hachinohe with my friends this summer.と書くことができるな。他にも使える表現はあるかな？

**ポイント**

- ・ICT機器やALTを活用し、英作文を効率よく提出、添削できるようにする。
- ・共通して見られるミスやエラーは、全体の場で指導をする。

【単元の最終段階】**5 パフォーマンステストは、生徒を評価できるまで指導してから実施する。**

学習活動 每時間、単元のゴールに向けて表現を積み重ねていき、自信をもてるようになるまで言語活動を繰り返す。



I'm going to visit Hirosaki and see the Neputa Festival with my sister this summer. I can also see the castle and eat delicious apples there. I think Hirosaki is a nice city!

ポイント

文と文の順序や相互の関連に注意し、全体として一貫性のある文章を書けるように指導することで、表現を積み重ねさせる。

【単元のまとめ／振り返りの時間】**6 活動を振り返り、成長を自覚させる。**

学習活動 ICT機器等で記録していた活動を振り返り、過去と現在を比較して成長を実感する。